

グループホーム パインの里

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

・自己評価 令和5年9月15日

・運営推進会議で話し合い 令和5年11月27日

・外部評価 令和6年1月29日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・見える所に掲示してあり、朝のミーティング等に唱和し合うようになっているが、機会が減っているため意識が薄れている。			・GHの機能を理解する上でも理念の共有が必要なので、管理者と職員が一緒になって唱和したり、意識し合うようにして行く。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・まだまだ日常的な交流が出来ていないのが現状。どうしてもまだ感染に怯えている所もある。	・以前の様に気にすることなく交流はまだ難しいのでは？どうすればいいのかの判断が難しい。 ・小学校や中学校の行事に参加できればいいのかなと思う。認知症サポーター講座を実施したので、相手側も理解してくれるかと。 ・積極的になるのはコロナが治まれば、小・中学校、文化祭など考えられますが、時期尚早かなと思う。 ・交流する相手との考え方のすり合わせが必要である。流行る時期などを考え、人混みの中は開催側とのすり合わせをして感染対策を取りながら実行するのも手だと思う。		・感染症が落ち着いている時期に、交流の場を設けたり、相手側にも確認を取りながら地域の方々との交流を考えていく。 ・まるっきり交流をしていないわけではないので、付き合いがある所は継続出来るように働き掛ける。 ・利用者様も子供が大好きなので、子供達との交流を多くして行きたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今年度は毎回開催する事ができ、皆さんからの意見や助言を報告しサービスの向上に努めた。 ・貴重な意見や助言をもらう事で改めて自分たちの励みにもなる事に気付かされた。	・運営推進会議に参加するようになり、2年目になる。自分でも勉強になり良い経験になっている。 ・GHの状況が分かり、行事や通院も頑張っていると思う。サービスの向上にもなっていると思う。 ・母がお世話になっている。感謝している。GH全体や具体的に理解できるので良かったと思う。 ・消防訓練見学してもらって助かっている。身体的拘束適正化検討委員会も会議を活用して意見や助言をもらい良い機会になっている。次年度も協力してもらいたい。		・今年度の運営推進会議は予定通りに開催する事が出来た。参加メンバーからの意見や助言、励ましの言葉がありサービスの向上に繋がっている。 ・自分たちが実施している事をアピールできる機会でもあり、日ごろのケアを紹介して行く。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・包括とは連携がとれており、協力関係が築けている。実習生を施設の見学に来てもらったり、GH機能を伝える機会を作ってくれた。 ・市町村担当者とは毎月始めに入居者名簿や待機者名簿をメールで報告している。	・包括は定期的に参加している。市は年に1回参加している。包括では実習生の受け入れをしていて、GHの機能や見学をして頂き大変助かっている。 ・市から委託されている包括と十分に繋がっているので、良いと思う。 ・包括は毎回参加してもらい、助かっている。市や行政との関りは介護の部分、生保の部分と横の繋がりがもっとあればこちら側も助かる。この会議を通じて発信したいがそうも行かないでしょうが...		・法人内に包括支援センターがあるので、とても気軽に相談しやすい。 待機者の情報や事業の情報も伝えながら協力をして頂いている。とても良い関係なのでこのまま継続して行きたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に身体的拘束適正化検討委員会や勉強会を行ないながら、意識の再確認を行なっているものの言葉による拘束や制限が聞かれることもあるのが課題である。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・義務行為なので、しっかりと勉強したり、実際にやらないように委員会を開催したり、よくやっていると意見を頂いた。 ・研修で学んだ事を自分に置き換える事が出来ない事があるので、復命しながら何度も確認して行きたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・身体的拘束適正化検討委員会の中で虐待に繋がる内容もあり情報を共有して理解を深め、上司にも報告をする体制が出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・GH 合同勉強会で学ぶ機会もあり、制度をまとめた資料もあるが積極的な活用には至っていない。			・制度を活用する機会がないので十分内容を理解しきれていない。知識の一部として習得して行く必要がある
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約時説明に時間をかけゆっくり話しやすい環境作りにも努めている。毎月の通信内でも前もってお知らせをする事で不安を少しでも軽減するよう取り組んでいる。			・契約時、サービスを利用する前に不安や疑問点を解決し、お互い理解し合っているし、途中でも不安や疑問点を聞き出すようにしている。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時や個別面談時に意見、要望を頂き事業や計画等にも反映している。 ・法人の理事会を通して苦情・意見・要望を報告している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時や個別面談、又はケアプラン見直し等に要望や意見をもらっている。苦情等も理事会で報告している。 ・利用者らの訴えは日頃のケアの中で改善している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・会議、ミーティング、育成面談等で、意見や提案が聞かれるが、運営に関する内容は少ない。			・些細な会話の中からも職員の意見や提案を聞くようにしている。会議の機会が今後増えて来ると思うので、意見や提案を聞きだしたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職場環境や条件の整備に努めており、常に働きやすさを考えている。 ・個人面談時に勤務状況の希望や限定などを聞き対応できるように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の育成の為の取り組みがあり、すごいですね。実際に本人にも面談をする事も良いですねと意見を頂く。 ・半年に1度、自己評価・人事考課・育成面談を実施し、全ての内容を法人理事長が目を通し、職員個人の能力や実績の把握に努めている。育成面談の中で将来はどのような職員になりたいかを明確にする機会を設けている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・オンラインを上手く活用し研修を受ける機会の確保がされている。 ・ユニット内や GH 合同勉強会もありトレーニング出来ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今年度はノーリフティングに取り組んでおり、リーダーを中心に勉強中。 ・職場内研修は毎月実施、ユニット内勉強会や GH 合同勉強会も実施している。オンライン研修も引き続き実施。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・なかなか機会が無かったので、包括主催の会議や研修会に参加させてもらうようにこちらから声を掛けていきたい。			・以前から包括支援センター主催の研修会や事例検討等の場を設けて頂き、GHに限らず様々な医療や福祉、警察、薬局、地域とのネットワーク作りの一員として引き続き参加させて行きたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様それぞれに役割があり、お互い助け合いながら生活ができています。(廊下モップ掛け、手すり拭き、洗濯畳、盛り付け等)			・利用者様のそれぞれの役割があり、作業や活動を行ってもらっている。共に助け合う場面もある。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・墓参りや家族との外出が少しずつ増えてきているように思える。 ・ご家族の方もイベントで贈り物を送ってくれたり、定期的に面会に来てくれている。	・部屋の中ばかりにいてはダメだと思う。少しでも外出させてもらいたい。 ・面会も定期的に外出もさせてもらっているので問題ないと思う。 ・母も数年ぶりに我が家に外出でき		・特に面会時は職員が席を外して話しやすい環境にしたり、会話の架け橋をしたり、支援をしている。

					た、重度化にもなっているの、チームでやるものだと思っているので、職員ばかりでなく、家族も出来る所はやって行きたいと思う。 ・ご家族の方にも外出支援有難うございます。親類や町会の方とのなじみの関係も大切ですが、GHの中で出来た馴染みの関係も大切にして欲しい。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴や生活習慣を参考にしたり、会話の中から希望や意向をくみ取るようにしている。 ・対話にて思いを把握努めるも本当の思いなのか苦慮する部分もある。 ・希望通りに対応してもやはりすぐに忘れてるので、残念に思う。			・なかなか自分からきちんとした言葉で希望や意向を伝えてくれる方はいない。会話の中や生活歴からご本人の思いや意向を探り、把握に努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人、家族からも要望を聞き、役立てている。 ・デイサービス看護師や訪問看護師、主治医にも意見をもらいながら作成している。 ・安定している事が多いので、殆ど内容が変わらない事が多い。	・どのように作成されているか？内容も見た事がない。(説明した)介護計画もあるし、安心した生活を送る事ができているのでは。 ・家族からも色々な意見を聞いてくれて取り入れてもらっているのありがたい。 ・GHの介護計画は難しい内容ではなく、分かりやすい内容となっていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今までの取り組みを継続し、GHスタッフのみではなく、関係する職域から意見を頂きアイデアを反映する。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・記録の他、申し送りノートを活用し、口頭での報連相を行い共有。 ・会話内容も細かく記入し、気づきに活用。 ・担当者会議にて見直しや情報共有出来ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・作成した計画を全職員に反映させる為にもプラン内容を周知するように計画作成担当者が実施する。 ・まだまだ手書きで時間が掛かるかも知れないが、リアルに書けていて良い、又タブレット活用はしないのか？とのご意見頂いた。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々に合った柔軟な対応は出来ていると思われる。買い物や通院介助等柔軟な対応ができています。	・個々の意見もあるが全てを対応するのは難しいと思う。 ・様々なニーズに対応していると思う。楽しんでいると思う。 ・大変良くしてもらっている、多機能化も出来ている。十分な介護も出来ている。 ・行事や通院も対応しているが、現場ではもっと希望を叶えて行きたいと思っている。		・里の良い点はワンストップで全ての事ができる事。特に通院は現場の職員が付添う事で情報は確実に伝わり共有も可能である。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	・地域自然や文化、お祭りは楽しめるようにした。 ・その他のサービスを活用にまでは至っていない。	・ドライブも季節ごとに実施出来ているので、良い。 ・東目屋文化祭にも参加しているし、町会長さんとの繋がりもあるので、状況を見ながらもっと地域との交流としては。 ・状況を見ながら参加や交流をして頂きたい。 ・屋内はまだ難しいので、屋外で行えるものはどんどん活用してもらいたい。今後は纏振りなどもある。		・市の事業資源は可能な限り利用したい。観光の名所が沢山あるので、活用している。ボランティア活動はどのような物があるのかを把握していないので、リストアップし必要な時に活用出来たら良い。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・かかりつけ医は在宅のままご本人の事を分かっている先生を引き続き受けられるようにし、内科の他に各専門医への受診も行っている。			・在宅で通い慣れていた病院をそのまま継続できるようにしているが、通院時間が長い場合は変更する場合もある。ご本人の通院が必要な時以外はスタッフ代理で対応し、負担軽減や感染防止対策としている。ご家族にも協力してもらえる時はお願いしている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・お陰様で、入院するケースがなく、健康に生活が出来ていた。 ・そうなった場合は情報交換して早期退院に向けた働きかけをする事になっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・病院側と相談しながら、GHでの対応範囲を伝え早期の退院に繋がるように配慮した。環境が変わると急変するので、出来れば早い段階で退院してGHへ戻ってきてもらいたいが、高齢なので様々な病気を併発してしまう。 ・内科主治医から認知症の症状に応じて薬を処方してくれる場合もあるが、専門医へ紹介してもらおうケースもある。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所時に大まかな方向は決めているがその時々段階に合わせて話し合い、GHで可能な終末期ケア(医療行為ができない)の内容を説明している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時に大まかな方向性は決めている事は継続しつつ、定期的に今の状況や重度化になった時の対応、看取りのお話しなどもお互いに理解し共有したい。 ・ご家族からもいざとなった時は不安だが、詳しく相談したり主治医からも説明を受けると安心したと意見あった。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	・法人の看護師の協力もあり、対応し連携もとれている。 ・マニュアルも整ってはいるが確実に実践力が身につけているとは言えない点もある。 ・自信が持てるようしっかりと訓練を受けたい。			・併設のデイサービス看護師を講師に急変時の対応を学び、実践力を身に付けている。避難訓練と同様、初動訓練を定期的実施していく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	・マニュアルに沿った行動がとれるように努めている。 ・業務継続計画(BCP)がまだ出来ておらず、今年度末までには作成し、それを基に訓練を実施したい。	・避難訓練年2回行っているの、いい事なので続けて下さい。訓練は何回やっても良い。 ・来年度までにBCP計画も作成しなければいけない。マニュアルもあり、訓練も実施されている。新しい計画が出来たら、訓練を実施して欲しい。 ・職員の皆さんは何かと介護だけではなく、やる事が多く多変ですね…。 ・昨年の避難時の良かった点や悪かった点もある。それを活かしながら災害時のBCP計画を作成して欲しい。地域柄、土砂崩れや噴火の想定で作成しなければならぬ。里は特殊な場所にあるの、難しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	・災害時における事業継続が出来るようマニュアルを法人で作成し、夜間帯の方法は協力が必要なので、体制をしっかりと整えておく。里独自の事業継続計画(BCP)を令和6年3月31日までに策定が義務付けられている。只今、試行錯誤しながら作成中。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・それぞれ利用者様の性格や対応の仕方にも合わせながら行なった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・尊厳を尊重し、それぞれ利用者様の個性や性格に配慮した言葉掛けをするよう工夫する。不適切なケアに繋がるので十分に注意する。 ・難聴の方には大声になるので、周りに聞こえてしまう事がある。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日課や役割を無理強いせず、その日のペースやリズムに合わせている場合が多いが、職員側の決まりを優先する時もあり、利用者様に説明させてもらっている。			・業務優先になりがち、利用者様主体のペースを大事にする支援を全職員で行い。利用者様と一緒にゆったりと過ごせるようにしたい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・クックフリーズ方式に変更になり、利用者様の作業内容が減ったが、能力や意欲に合わせて提供、楽しみ生き甲斐が得られるようにしている。 ・季節の食材をご家族の方からも提供して頂き、下ごしらえと一緒にやる事で季節感を感じてもらっている(山菜やキミ、栗、リンゴ)		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の得意な部分を發揮してもらいながら一緒に準備を継続中。可能な範囲で好みに合わせる事も出来ているので、このまま続けて行きたい。 ・クックフリーズ方式になり、利用者様と一緒に食事準備の作業が減ったが、盛り付けや後片づけは手伝ってもらっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・水分量、喫食量共によく観察し記録に残して、情報共有している。 ・食べやすい器や食材の形態や咽込みを防ぐような工夫もしている。			・水分量、喫食量共によく観察している。情報共有して必要量の確保できるよう、体調も配慮しながら支援を続ける。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後行う事が出来ている。 ・見守りや一部介助、全介助と個々に合わせた介助が出来ている。 ・毎食前には口腔体操を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔ケア加算も頂いているので、歯科医師の助言を参考に毎食後の口腔ケアを個々の能力に応じて介助し、口腔内の清潔保持をしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・大体の排せつパターンを把握し、個々にあった排せつ用品、排せつリズムでトイレに誘導している。 ・便秘予防に水分を多めに飲用したり、牛乳や乳製品等を提供している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・座位保持可能であれば、トイレに排せつしてもらっている。紙パンツから普通の下着にしたり自立支援している。 ・排せつ用品は利用者様負担になっているので、できるだけ費用の負担を少なくなるようにも考慮しながら、自立に向けた排せつ支援をしている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・週2回の入浴で特に不満が出ていない。利用者からの要望は特にない。 ・通院や行事等で時間や日にち			・利用者様から希望が聞かれない為、午後入浴で対応中。入浴拒否する方には様々な時間帯に声をかけて入りたい時に入れるように工夫している。

				変更は事前に伝えている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・横になるように休息を勧めたり、夜間でも寝付けられない方には話し相手となっている。			・利用者様の習慣を考慮しながら休息してもらっている。昼夜逆転傾向になる方にも状況に合わせて対応している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬情報ファイリングし、確認出来ているがまだ、十分に把握出来ていないスタッフもいる。 ・誤薬防止の為、色で朝か昼か夕か判断出来るようにしたり、2人で薬を確認してから服薬してもらっている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬 box に入れる段階と手渡す段階に名前や日付、必要な薬が揃っているかを確認し、手渡す時は2人で間違いがないか本人に手渡されているか、飲み込んだか確認し、誤薬防止に努めている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個々の話題提供時に興味のあるもの、冗談が好きな方や歌が好きな方など張り合いあるよう支援している。 ・それぞれ得意な分野で活躍してもらうように支援している。 ・気分転換のドライブは皆さんに好評で外に出掛ける楽しみを提供した。	・1人1人楽しめるようなやっていると ・得意分野の部分も通信等で見せてもらっているので笑顔が一番だと思っているので考えてもらっている。 ・日々の作業やサービス提供をされている。暑い中草取りも行っている。昔から行っている事を続けて欲しい。		・入居者への話題提供時に興味のある事で気分転換もしている。冗談が好きな方や歌が好きな方など張り合いあるよう支援しているので継続中。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日常的に希望を訴える方が少なく、上記35とおりにドライブ等で支援している。 ・通院のお手伝いをご家族にもしてもらった。	・日常的に通院や外出、又はご家族に協力してもらいながら行う事ができている。 ・季節ごとにドライブも行っているみたいで、母もドライブが好きなので助かっている。 ・十分にできているのではないかと、これから冬に入ると外出の機会が減ると思うが、外出する時は事故や怪我のないように気を付けて欲しい。		・季節にあったドライブや一代様巡りなどを行っていたので、これからも出かけられるように支援し、通院などのご家族が協力して頂ける所は手伝ってもらうように継続する。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・所持したい方には渡している。 ・買い物や通院時に支払いを援助している。代わりに払って欲しいとの希望が多い。			・利用者様の能力に応じて支援出来ている。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・母の日や誕生日の贈り物のお礼に電話したり、プライベートな会話時は席を外している。			・毎月通信を作成している。利用者様が伝えたい事等も載せていきたい。電話での会話は支援出来ているが、手紙の返信の支援も行って繋がりを大切にする。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ホールでは利用者様の関係に考慮した座席配置をしたり、安全に移動ができるように座席の高さをその方にあったものにしていく。 ・季節感ある飾りは良く出来ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の馴染みのある季節の行事を感じてもらえるような掲示物をしたり、飾りつけを継続中。 ・居室が分かりやすいように、目印をつけたりして自立支援もしている。 ・ご家族からも良く手の込んだ物が飾られていると意見あった。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・叶える事が出来るように援助はなるべくしている。 ・なかなか思いを伝える事ができない方もいるので、配慮が必要とと思っている。			・入居者様の思いや願いに沿った支援が出来るように寄り添うことを大事にしたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴、特徴は把握しているのでケアに活かされている。 ・アセスメントに基づき観察した情報を活かし適切な支援内容を提供出来ている。			・生活歴、特徴は把握しているのでケアに活かす事が出来ている、特徴や習慣にも配慮しているので、継続したい。 ・外にいる友人たちにもこれから会いに出かけたい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・観察し気付いた内容を情報共有する事で適切な支援内容を提供できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・適正にケアや支援が出来ていると思われるので継続しより良いケアに繋がれるように日々努力している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来るだけそれまでの習慣を継続してもらうように支援している。			・グループホーム内で今まで暮らしてきた習慣を継続出来るような支援をしている。

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけられている。 ・きれいに飾り付けや配置しても片付けたり、違う使い方をしてしまう方もいるので、危険の無い様にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけ、利用者様の個性がある空間になっている。しかし、利用者様にも差があり、家具が無い方もいるので職員側で温かみのある掲示物を準備し、少しでも家庭的になるように配慮している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自分から意向や希望が少ないので、季節に応じたドライブや外出を企画して参加してもらった。 ・桜、ネプタ、アップルマラソン応援、お山参詣等を楽しんでもらった。	・十分に出来ていると思う。 ・書かれている通りで感謝している。		・入居者様の希望や意向がなかなか聞かれないことが多くなって来ている。スタッフ側で企画して入居者様の反応が良かった物や喜んでいた物等を提供していく事も良いと思われる。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・能力に合わせた役割や余暇活動を提供し支援出来ている。 ・畑仕事や台所仕事等昔よく経験した内容を提供するようにしている。。			・能力に合わせた役割や余暇活動を提供し支援出来ているが、やってきた事が出来なくなる事もあり、さり気なくカバーし配慮している。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場면을日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・交流や会話のきっかけ作りを難聴や理解力に応じ支援している。 ・活動の場面を持ってもらうように時間を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者ごとに役割ある生活を送ってもらうことで必ず活動や活躍してもらえ場面を作っている。
48	本人が持つ力の活用	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・以前の様にまだ、交流が出来ていないので、もう少し力を入れて働きかけていきたい。	・まだ感染症の問題もあるので、関わるのは難しいので、徐々にやって行くしかない。 ・本人が自ら関わる事は難しいので、職員の助けを受けながら行っていくしかない。今のままで十分かと思う。 ・本人の日常的な友人が近所にいる方も居るだろうが、そうではない人も居る。充足させるのは難しいのでは。広域的に考えれば出来ていると思う。		・毎年行っている交流をいつでも再開できるように計画しておき、出来ない時は繋がり(地域住民からのリング差入れなども伝え)を実感してもらうように働きかける。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自由にならず不満も少なからずあると思うが安心の日々、より良い日々が送れていると思う。 ・地域の人々と接する機会が減ったままになっているが健康で暮ら	・安心して思う。 ・自宅に居るから幸せか安心か？決してそうではない。見守りが出来る中で安心してよい日々を暮らせているのでは。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・安心、安全、より良い暮らしが続くように皆様からの意見や助言を取り入れ、サービスの向上に努めスタッフ一同取り組んでいきたいと思います。

				せることで又希望を持っていきたい。	・十分に出来ている。職員も出来ない所をどうにかしようと考えている事が良い事に繋がる。		
--	--	--	--	-------------------	--	--	--